

第1回「仙台塩釜港長期構想委員会（幹事会合同）」の概要

＜委員会の趣旨＞

令和6年3月にとりまとめた「仙台塩釜港の将来像と目指すべき方向性」を踏まえ、概ね20～30年先を見据えた仙台塩釜港のあり方、港湾空間の利用方針等について、学識経験者や経済団体、港湾関係者、港湾所在自治体や国関係機関等を構成員として、第1回「仙台塩釜港長期構想委員会（幹事会合同）」を以下のとおり開催しました。

＜概要＞

- ・ 日 時：令和7年5月23日（金）午前10時から12時まで
- ・ 場 所：夢メッセみやぎ 本館会議棟 大ホールA・B
- ・ 出席者：学識経験者、経済団体、港湾関係者、国・関係市町（委員 全30名 幹事全18名） 対面・web
- ・ 内 容：○ 「仙台塩釜港の将来像と目指すべき方向性」の概要
○ 仙台塩釜港の現状・課題 など

（開催状況）



＜各分野における主な意見＞

【物流・産業】

- 仙台塩釜港の強みをアピールすることで集荷・創貨につなげることが重要。
- 松島の遊覧船は、運営会社1社につき1隻の運行としているが、担い手不足に伴う運営会社の合併等により観光業者が減っている。
- 仙台塩釜港は東北で唯一の中核的国際拠点港湾として、その役割を長期的に見て強化する必要がある。東北経済を支えるには、アジア航路の更なる誘致が必要。
- RORO 船の大型化や2024年問題によりモーダルシフトも進展していることから、仙台港区において、背後用地の確保及び新たなバース整備が必要である。また、塩釜港区においては、航路の浚渫及び岸壁整備が必要である。
- フェリーターミナルにおいて、乗船手続きをスムーズに行えるスマートチェックインの導入を検討してほしい。
- 港湾の人材不足が問題である。20～30年先の働き手である現在の小学生など若者に向けて、港湾には魅力的な仕事があることを発信していきたい。
- 荷主から選ばれる港、地域戦略、鉄道の活用を踏まえた港整備が必要と考える。

（次ページ有）

【防災】

- 防災の観点で見ると、東日本大震災発生時のように仙台塩釜港が被災港湾になる場合と、首都直下型地震や南海トラフ地震発生時に広域的な防災支援港湾となる場合の2パターンがある。この点を整理して災害対応力に優れた港づくりをしてほしい。
- 東日本大震災に日本海側に物流ニーズが集中したことを振り返ると、普段からBCPを意識したブランディングを行うことで顧客ニーズの獲得に大きく影響すると言える。ポートセールスを行う中でBCPをアピールポイントにするべきである。

【施設整備・維持】

- 各企業の発展のためには、岸壁等港湾施設の老朽化対策の計画的な実施や、利用状況を踏まえた施設整備（防舷材など）が必要と考える。
- 耐震強化岸壁の整備は、大規模地震発生時の緊急物資輸送拠点の機能だけではなく、貨物輸送やクルーズ船誘致も期待できる。
- 塩釜港区は、巡視船の拠点港であることから、巡視船がスムーズに出航できるよう港湾整備を進める必要がある。
- 安全性の高いプレジャーボート係留施設の整備を位置付けてほしい。
- 限られた空間なので、既存の岸壁や埠頭の使い方を見直すことや港区間連携強化により、各種課題に対応することも重要である。

【観光・交流】

- 世界的に高まっているクルーズ需要の波をしっかり捉えた長期構想計画としてほしい。
- 現在は、クルーズ船の寄港回数が少ないため仮設テントにて各種手続きを実施しているが、今後、クルーズ船の寄港増加が見込まれる場合は、旅客船ターミナルの検討をお願いしたい。
- 交通ネットワークの整備促進は、人流・車両アクセスの面からインバウンドに貢献できる。
- 松島港区は観光の役割が強い一方、大型クルーズ船に関しては仙台港区・石巻港区での受け入れとなるため、松島へ観光する場合は車移動から小型船舶での移動となっている。よりスムーズに観光地へ移動してもらえる方法を考える必要がある。
- セービングは仙台港区に隣接しており、特にクルーズ船が来たときなどはロケーションも良く、自然豊かで親水性も高い。このような特性を活かした港湾環境整備を行っていけないかと考えている。
- 長期構想にぜひ、遊びの要素を取り入れてほしい（ゼロヨン大会、インバウンド向け武道ツーリズムなど）

＜仙台塩釜港全体にかかる主な意見＞

- 将来像を考える中では、まちと港、人と海を結びつける新たな事業、また、経済活動の再生につながる事業を見出すことが大切。
- 現状の課題・問題点をきちんと整理したうえで、将来の港のあるべき姿を検討してほしい。
- 仙台塩釜港は仙台港区、塩釜港区、石巻港区、松島港区の4港区のシナジー効果が期待されていた港である。2024年問題や環境問題の観点から、船舶輸送の更なる需要が見込まれる中、仙台塩釜港が積極的に協力していかなければならない。
- 仙台塩釜港全体としての方向性のほか、港区别の役割分担を示すことが重要。
- 長期構想において、物流、人流の検討が重要と考える。
- 各種課題はあるが、将来構想を明確にすることが安全・安心でより良い港湾を作り上げていくうえで重要と考える。